

## 令和5年度 第1回豊明市文化財保護委員会会議録

日 時：令和5年5月26日（金）

場 所：豊明市役所新館3階 教育委員会室

出席者：佐野委員、近藤委員、相場委員、鈴木委員、岡村委員、永井委員、鬼頭委員、岩本委員

事務局：藤井教育長、高木教育部長、相羽生涯学習課長、青木生涯学習課長補佐、岸田専門員

傍聴人：なし

### 1 委嘱状交付

#### (1) 委員長の選出について

佐野和子委員を選出

#### (2) 副委員長の選出について

委員長の指名により近藤俊秀委員を副委員長とする。

### 2 教育長挨拶

歴史民俗資料室の開設にあたり、地域の歴史や文化に関心をもっていただける市民が増えるよう市としては少しずつではあるが、お金をかけ施設・設備を充実させていく考えである。

### 3 議題

#### (1) 令和4年度 文化財保護事業報告について

(事務局説明)

- ・リニューアルオープン後、1年間の歴史民俗資料室来場者数は5月6日現在4,000人弱であった。今後も様々な取り組みを継続していきたいと考えている。  
令和5年度 文化財保護委員会事業計画（案）について
- ・歴史民俗資料室収蔵庫の整備をしている状況で、将来的には回想法の視点から介護施設、老人施設などの団体見学を受け入れて積極的に公開し、有効活用をしていきたいと考えている。特に高度経済成長期の民具（30年代から40年代のもの）を重点的に収集したいと考えている。  
現在、市制50周年を記念して当時と現在の市の移り変わりが分かる写真を展示し、その当時（昭和47年前後）のレコードを集めて聞くことができるようにしている。
- ・秋に開催する企画展については寄贈いただいた大筒や刀（室町時代後期）を主軸としこれに関連して、沓掛城址のジオラマも展示したいと考えている。

(委 員)

- ・民具の展示は地域の産業（タバコ、養蚕）をテーマとし、他館が所有する収蔵品を借用できるとよい。
- ・民具の時代的変遷が分かるものを展示できるとよい。
- ・対象民具の収集については環境課と連携して入手したり、古くからの住居に出向いて交渉するとよい。

(2) ナガバノイシモチソウ・大狭間湿地の一般公開について

(事務局説明)

- ・今年度も豊明高校の生徒に協力をお願いする。なお雨天の場合は開催を中止する。

4 その他

○ナガバノイシモチソウの遺伝子解析結果について

(事務局説明)

- ・開花数から例年どおりの数となっている。開花する個体と開花しない個体に分かれており、開花しない個体では種子を形成しない状況である。さらに8月に開花した個体の方が9月に開花した個体に比べ、種子形成が良いという結果報告になっている。
- ・保護地周辺の除草作業を6月に臨時で行う。  
自生保護地周辺(水路部分)に生えた背丈の高い草木類については所管課と連絡をとって整備依頼を行っていく。

○ナガバノイシモチソウの保存活用計画について

(事務局説明)

- ・保存活用計画書(案)を提出。年度内には県の審議会に諮り保存活用計画書を完成させる予定である。

○その他

(委員)

- ・みよし市の稲垣氏から寄贈を受けた土器や石器のコレクションの鑑定を永井委員にお願いしたい。

(永井委員)

- ・参加させていただきたいと考えている。先ずどこで収集したかの情報が必要となる。早めにレポートにまとめておいた方がよい。

(委員)

- ・沓掛城址にある橋の鉄骨がむき出しになっている部分があるが補修計画はあるのか。また、通路部分は桜の根が盛り上がっている箇所がみられ危険である。その他、堀の法面が崩れてきているところがある。補修の計画はどうか。

(事務局)

- ・橋については予算がなく、すぐには難しいが、今後補修する方向で考えていきたい。通路については、公園として整備されてから大分経ってきており、補修するよい時期だと思う。